

第5学年「総合的な学習の時間」学習活動案

1. 単元名 「C地域の環境を知り隊・守り隊～つくろう私たちの好きな場所いい場所～」

2. こんな子どもたちだから

○本学級の子どもたちは、今までの総合的な学習において、3年生の「花いっぱい運動」で花作りを通して気持のよい町づくりを、4年生の「ハートフル C 地域」で高齢者にやさしい町づくりを体験してきた。

花いっぱい運動では、花作りをして校区に配ることで、自然があまりない校区の現状に気づくとともに、花のある町のよさを考えている。また、地域の方々とかかわりことの楽しさを経験してきた。

ハートフル C 地域では、高齢者の立場から地域を調べることで、車いす体験など様々な方法で確かめることで、今までの自分の見方の狭さと、住みよい地域に対する見方を広める方法に気づいてきた。また、地域の方々のことを考え活動している民生委員の方々の考え方や生き方に共感したり、自分たちが地域の方々や積極的にかかわることの価値にも気づいている。

5年では、3年生で考えた「環境」と「気持ちいい環境作り」の視点、4年生の「ハートフル C 地域」での地域に対する多様な見方を「環境」の視点で適用させることを考えた。つまり、「自然と人（生活）」という視点から環境を考える活動を考えた。子どもたちの自然に対する見方は、一つひとつの生き物や植物やそれらのいる場所に自然を感じるといった程度であり、自然のつながりや人との関係はあまり意識していない。しかし、虫さかしや植物調べは好きであり、自然と人とのかかわり方に対する関心が高い。

校区をきれいにする活動では、子どもたちは公園の掃除や C 川清掃などの地域の活動のことは知っている。しかし、C 川清掃にしても、親から促されて参加する程度の意識であり、最初の参加希望者は33人中3人であった。教師の働きかけにより23人に増えたが、「だれかに言われれば参加しても言い」という意識が強く、自分たちから活動に参画できるという意識は低い。

対話に関しては、自分固有の考えを出すことに対して消極的である。しかし、いろいろな教科でグループでの交流を経験してきたおり、比較的安心して話し合える。

3. こんな教材で

○本単元は、自分たちの生きている C 地域の環境についての見方を広げるとともに、住みよい環境づくりについて取り組む単元である。

C 校区は、学校の前の C 川があるものの、自然の川というよりも田畑や生活のための用水というほうが適切な川である。また、公園を中心に緑があったり、若干の田畑があるなど、自然がほとんどない地域といえる。そのため、地域の環境を考えるとき、暮らしの中にわずかに残った「自然」や学校や家や公園にあえて作った緑などの役割や効果を調べ、住みよい環境という視点で「自然」とどう生かしていくか、守っていくかを考えることができる考えた。このように、自分たちのまちづくりとしての「自然」と「生活」を考えさせる総合的な学習の時間の単元を考えることとした。

C 地域の中で考え得る自然を知る活動とはとは、「緑」と「心地よさ」という観点から、木々の中や緑のカーテンの中、水辺の近く、アスファルトの温度差を比べたり、木々の酸素量を調べたり、生き物の数や種類を調べたり地域の人々に意識調査をしたりして、自然の役割や効果を考える活動が考えられる。特に、1日の大半を過ごす校庭については案外知らないことが多く、自分たちが環境作りに参画できる余地があることを知らない。そこで、「自然」を知ると同時に、住みよい環境づくりの活動へをしたい。その際、友達との協同、学校や地域の方々への情報収集や評価、学校への取組への交渉などのかかわらせていきたい(対話の場)。

このことは、これまでの総合的な学習で学習した、地域の環境、福祉の取り組みを継続・発展させることとなる。また、自然と人とのかかわりを見直し、生活環境の見方の広まりへとつながる。そして、学校・地域の町づくりにも参画していく力の育成にもつながる。

4. こんな子どもの姿をめざしたい

- 校庭・校区の自然についてさまざまな方法で調べたり、人々の自然に対する意識を調べることによって、人のくらしと自然とのかかわりについて考えることができる。
- 校区の環境について、自分の課題を解決するために、校庭・校区を調査したり、校区の人たちに取材したりしながら、目的に応じた人々と主体的にかかわりながら追究できる。
- 学校や校区の自然を活かし住みよい場所づくりを実現するために、友だちや学校・校区人々との交流を通して、考えを広めたり深めたりすることができる。
- 校区の自然や自然を大切にしている人々とのかかわりを通して、校庭や町のすばらしさに気づき、自分も住みよい環境づくりにかかわってこうとする態度を育てる。

5. こんな方法で

- 自然に対する見方をイメージマップに表したり、校庭や校区の環境に対する取組をKJ法で整理することで、自然に対する見方を広げたり、自分たちの取り組みの見通しを立てたりする。
- 調査や取り組みを考えるために様々な調べ方を試したり、GTとくり返しかかわらせることで、問

題解決の手助けとするとともに、地域の住みよい環境作りの一人としての自覚を高める。

- ・ 情報や技術をもっている方
- ・ 取組をするための交渉しないといけない方

○ 「友達と調査や活動を評価し合う場」「自分たちの取組の情報をもらったり評価してもらったりする場」「とりくみを紹介したり引き継いでもらったりするための発信の場」をつくることで自分の問題解決技能の高めたり、自分の見方や取組を価値付けたりできるようにする。

○ 考えの変化や活動の過程がわかるようにポートフォリオを作成し、ポートフォリオを参考に地域人材との関わらせ方や子ども同士の交流仕方の支援を行う(児童個人ののファイルとグループで作成した掲示物)。

5. 指導計画(30時間)

配時	学習活動と内容	主な指導・支援と留意点	評価の視点		
2 ① ①	<p>1. 校庭に自然のあるよさを考える。 (1)学校の自然のあるよさについてのイメージマップを書く。についてのイメージマップをかく。</p> <p>(2)自然のよさについて話し合い、めあてをつくる。</p> <p>「気持ちのいい場所」 「落ち着ける場所」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ずずしい ・ 風通しがいい ・ 静か ・ いい音がきこえる ・ においがいい ・ きれい <p>「楽しい場所」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな種類の虫がいる ・ 好きな虫がいる ・ いろいろな植物がある ・ 木に実がなっている ・ 鳥の巣がある <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">見て楽しい、音を聞いて楽しい、遊べて楽しい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">校庭の「自然のあるいい場所、好きな場所」を調べ、C小の校庭を見直そう。</div>	<p>○ イメージマップに書くことで、よさの観点を明確にする。また、学校の校庭でそのよさがある場所とその自然度を考えさせることで、校庭のよさと課題(もっとこうしたい)に関心を持たせる。</p>	<p>自分たちの自然への見方を知るとともに、校庭の環境への関心を持つ。</p>		
5 ② ③	<p>2. 校庭の自然のあるいい場所好きな場所調べをする。 (1)校庭の環境チェック表をつくる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 個人で考える ② 同質グループで交流 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">チ ェ ッ ク 項 目</td> <td> <p>気持ちよさ、落ち着ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ずずしさ→気温, 風通し, 日かげ ○ 静かさ→音の大きさ, 音の種類 ○ におい→においのもと(種類) ○ きれいさ→色, ごみ, 汚れ <p>楽しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 虫の種類と特徴 ○ 草木の種類と特徴 ○ その他の生き物 </td> </tr> </table> <p>③ 調べる観点ごとに分担する。</p> <p>(2)校庭の環境調べをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調べる ② 記録する ③ 調べた内容を紹介し合う。 	チ ェ ッ ク 項 目	<p>気持ちよさ、落ち着ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ずずしさ→気温, 風通し, 日かげ ○ 静かさ→音の大きさ, 音の種類 ○ におい→においのもと(種類) ○ きれいさ→色, ごみ, 汚れ <p>楽しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 虫の種類と特徴 ○ 草木の種類と特徴 ○ その他の生き物 	<p>○ 「自然のあるよさ」のイメージマップをふり返って考えさせる。</p> <p>○ 「気持ちのよい」「落ち着ける」「楽しい」の中で一番関心のある観点ごとに集まってグループで話し合うことで、よさを支える環境と環境の調べ方を具体化する。</p> <p>○ 季節, 天気, 時間などによって違いがあることを話し、違う時間や季節での様子を想起したり、関心を持ったりさせる。</p> <p>○ 場所, 結果だけでなく、感じたことや感想もかかせることでチェック項目以外の要素にも注目させる。</p>	<p>○ 「気持ちのよい」「落ち着ける」「楽しい」などを生み出す環境についての見方を広める。</p> <p>○ 涼しさなどを調べる方法や観察方法を考えることができる。</p> <p>○ 校庭の環境についての関心を深める。(その場所での</p>
チ ェ ッ ク 項 目	<p>気持ちよさ、落ち着ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ずずしさ→気温, 風通し, 日かげ ○ 静かさ→音の大きさ, 音の種類 ○ におい→においのもと(種類) ○ きれいさ→色, ごみ, 汚れ <p>楽しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 虫の種類と特徴 ○ 草木の種類と特徴 ○ その他の生き物 				

2 (3)校庭の好きな場所いい場所のよさ(課題も)を整理する。

①自分たちの情報を交流しあいながら、情報をカードを書いて画用紙にはる。
よさ(ピンク)
課題(青)

②他の場所もまわり、画用紙にはっていない情報があれば、カードに書いて貼る。

【同質グループ(かかわりたい場所)での交流】

③自分のかかわりたい場所を選び、場所ごとの情報を整理する。

カードの仲間分け
↓ ※ 楽しさ、すずしさ等
まとめた観点をかく
↓
よさを活かすための課題をつなげる

④自分の選んだ場所のよさと、よさを活かすために取り組みたいことを書く。
(個人)

校庭のよさをいかして、もっといい環境にしよう
～校庭の好きな場所いい場所づくり～

○紹介し合うことで、「調べ方は適切か」「調べた内容は正確か」「結果の見方適切か」「それぞれの場所へどんな思いや関心があるか」など自分の調べ方と自分の感じ方についてふり返らせる。

○「藤だな」「学級園」「校旗 国旗掲揚台付近」「キラキラルーム付近」「玄関前(メガネ池)」の5箇所の画用紙を用意し、たくさん調べることができた場所ごとに集まり情報を確かめながらカードを書かせる。
情報を出し合うとともに、自分の関心のある場所を考えるように声かけする。

○よさ(ピンク)、課題(青)のカードに書かせることで「こんなよさがある。もっとこうすればよりよくなる(課題)」を明確にし、自分たちの取組への方向付けをする。

過ごし方・かかわり方を意識した関心をもつ)

○それぞれの場所のよさを多面的(人とのかかわり方)にみることができる。

8 3. 校庭の環境づくりの計画を立てる。
(1)よくしたい場所の取組の計画を立てる。

①

藤だな→落ち着ける場所に いすの整備, きれいに整備
学級園→実のある木や草花や昆虫で遊ぶ 生き物調べ, 環境整備, 植える草の種類 百葉箱付近→バッタなどがいる場所へ 生き物調べ, 環境整備
キラキラ付近の木→鳥や生き物を楽しむ 野鳥の巣 いすの整備 土の山
メダカ池→水の中の生き物を観察しやすい 場所へ 整備, 生き物調べと紹介 観察しやすい場所へ

○ どんな場所にしたいか(予想図)
○ 取組の数と分担

③ (2)分担ごとに計画を立てる。

○取組みの見通しを持たせるために、「調査→企画→交渉→取組」の流れを黒板に掲示する。

○それぞれの場所のよさをまとめた画用紙やいままでのポートフォリオを活用して、「こんな場所にしたい」の完成図を書かせることで、グループ内での目的の共有化と役割分担をさせる。

どんな場所か(題名)

想像図

その場所で人々がすごしている姿

○取組の計画を具体化することができる。

- ・自分たちの願いや目的(同質グループの友達との確認)
- ・取組方法や対象場所の調査(学校関係者, 地域の方への取材・評価)
- ・交渉(学校責任者からの評価)
- ・取組(学校関係者, 地域の方への取材・評価)

<p>① 本時 (1)</p> <p>① 本時 (2)</p> <p>②</p>	<p>○画用紙に計画をかく。 ○必要な情報集めをする。</p> <p>【本時(1)グループ交流】 (3)調べた内容を集めて、取組のよさと取組の難易度を話し合う。 ・目的にあっているか ・問題点はないか ・可能か</p> <p>【本時(2)全体交流】 (4)計画を学級で紹介して、意見交換をする。</p> <p>(5)自分たちの取組を見直し、計画を完成させる。</p>	<p>○場所ごとのグループを、取組内容ごとにさらに小グループに分担することで、対話しやすくするとともに、責任感を持たせる。</p> <p>○取材等をするときのインタビュー仕方の把握と練習を行う。</p> <p>○適切な資料、図書の把握をしておく。</p> <p>○予想図とのつながりをふりかえりながら検討することで、目的を明確にする。</p> <p>○予想図と関連させながら「目的～こんな場所にしたい」「取組～そのためにこんなことをする」「困っていること」を発表して、評価を求めたり、意見や情報を求めたりさせる。</p>	<p>○価値を考えた上で、自分たちに行えることを考えることができる。 ・本当に必要なことか ・問題点はないか ・可能なことか</p>
<p>8</p> <p>①</p> <p>⑥</p> <p>①</p>	<p>4. 校庭の環境づくりを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(集める) ・巣箱や虫が住む場所などをつくる (紹介する) ・生き物などの紹介板をつくる。 (整備する) ・椅子をきれいにしたり草取りなどの整備をしたりする。</p> </div> <p>(1)交渉し、許可をもらう。</p> <p>(2)取組手順を確認し、○○(自分の考えた計画)に取り組む。 ○取材 ○取り組み ○確認、評価</p> <p>(3)学級で取組の評価をし合う。</p>	<p>○計画表とお願いの原稿をつくる。 質問されることを想定する。</p> <p>○取り組みを行う際には、必ず事前に教師が確認し、安全面や他の迷惑にならないように指導する。特に授業時間外の活動は活動所と時間を把握しておく。</p> <p>○協力してもらった方にも参加してもらい、評価してもらおう。自分たちの見方を価値付けてもらい、発信への意欲づけとする。</p>	<p>○自分たちの考え、思い、計画性などを、筋道立てて伝えることができる。</p> <p>○友達、教師、GTとかかわりながら、協力して進めることができる。</p> <p>○取り組みの価値をふり返り、自分たちの見方や行動力の成長をふり返ることができる。</p>
<p>7</p> <p>④</p>	<p>5. 取組について紹介する。(C地域プレゼンツ)</p> <p>(1)紹介のためのプレゼンづくり。 ○学校環境のよさ ○取り組んだ内容と協力してくださった方々 ○取り組んだ環境の活用仕方</p>	<p>○ポートフォリオを利用して、プレゼンをつくる。また、かかわっていただいた</p>	

	○留意点やできなかったこととお願い(引き継ぎ)	方の意見や評価なども取材させる。	
②	(2) C 地域プレゼンツを行う。	○GTの方の招待状を作らせ、招待させることでお礼や感謝の気持ちを伝える。	○学年や地域の方など発信対象を意識して、わかりやすい表現を工夫している。
①	(3) 感謝状や異学年児童への協力要請や活動引き継ぎのお願いの手紙を書く。	また、C 地域プレゼンツの評価をしてもらう。	
	【3学期の活動】 C 地域の自然調べをする。 ・校区のいい場所調べ ・校区の取り組み調べ ・できることを考える	○校庭の自然調べの方法を想起して(教室掲示)、調べる内容について考える参考とする。 ○自分たちの行事への取組状況を想起して、取組の必要性を考える。	

6. 本時(12・13/30)

平成21年10月15日(木) 14:10~15:40 (90分)

5年○組教室にて

7. 本時の目標

【思考・判断】 自分の企画(取組の計画案)の価値、影響、難易度について、同質グループ(同じ場所を対象にしているグループ)や異質グループ(他の場所を対象にしているグループ)の友達の意見を参考に考えることができる。

【問題解決能力・コミュニケーション能力】

自分の取組の目標、取組内容についてわかりやすく説明したり、気になることを問いかけたり、友達の取組と比べながら意見交換や評価を伝えたり聞いたりすることができる。

【自己の生き方】

自分の取組や友達の必要観や有用観を感じ、取組の意欲を高めることができる。

8. 本時の仮説

校庭の自然を生かしよりよい場所づくりの企画を見直すために、他のグループの友達の計画に対して以下のような視点や方法で対話を行うことにより、自分の取組の価値や問題点を明らかにすることができる。と考える。

取組の視点:「校庭の自然のよさをいかしているか。」

「目的にあった内容か。」

「取組を実現したときに問題点はないか。」

「実現可能な取組か。」

交流の方法:同質グループ(同じ場所を対象)で対話しながら2種類のカード(よさと問題点)の作成する。

提案グループに対する意見や感想を書いたカードを使って、提案グループの友達と計画を吟味する交流する。

9. 本時の活動について

前時までに、「藤だな、学級園」(この中に3グループに分かれている)「キラキラルーム周辺」(この中で2グループに分かれている)「メガネ池」の3箇所に分かれて、自然のよさをいかした場所作りの計画を立てている。また、計画のための調査結果も図や表に整理している。さらに、自分たちの計画内容に対してのふり返りや他のグループの計画に対する感想や意見も書いている。これらの準備を経て、本時では他のグループとの意見交流を行う。このことで、自分たちの計画を付加、修正、強化して、実現への交渉ができる計画へと高めていく手がかりとする。

本時の前半では、同質(同じ場所を対象にしている)グループで、それぞれの分担した内容を紹介し合う。この際「目的に合っているか」「どんな影響があるか(問題点)」「実現可能か」の視点で検討する。また、同質グループの交流が、他のグループに紹介する際の練習にもなることを期待する。つまり、計画の「主張点」「みんなに聞きたいこと、たずねたいこと」を振りかえることができる。と考える。

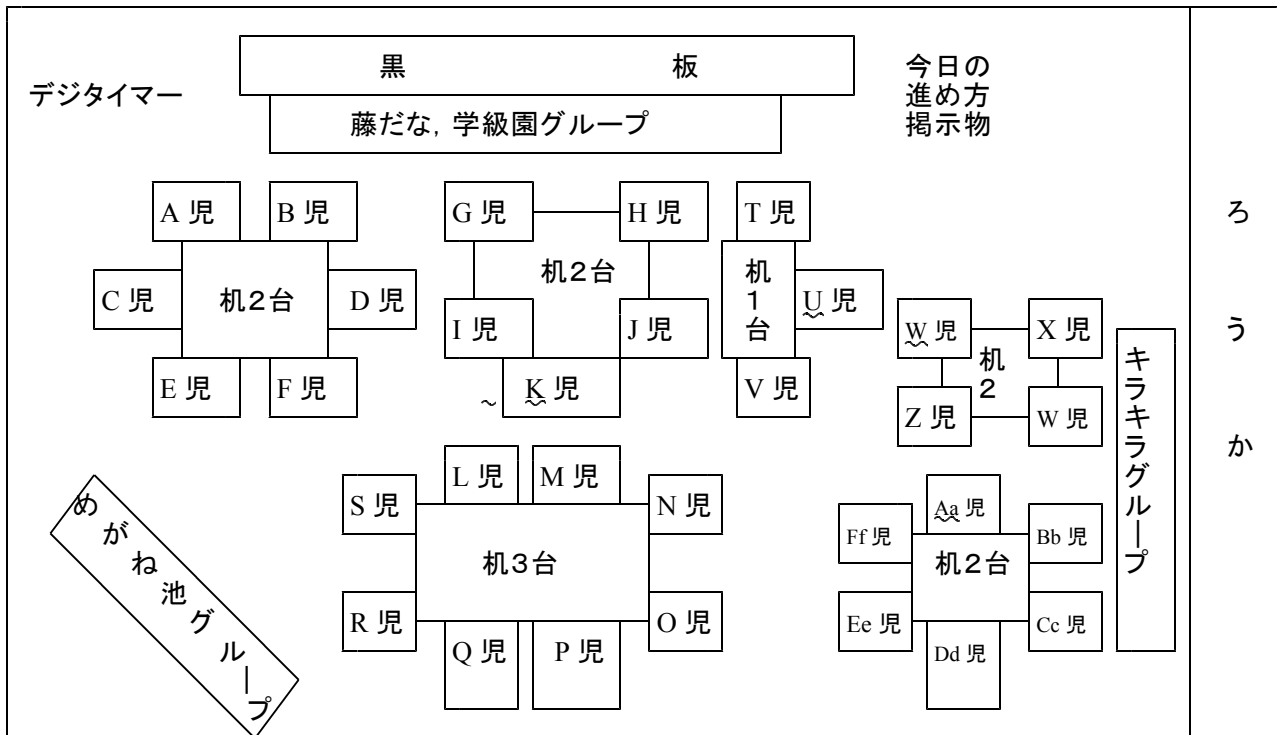
本時の後半では、他のグループに対しそれぞれの計画を紹介する。紹介された計画に対して、同質グループで評価し、よさ(ピンクカード)、問題点(青カード)をカードにまとめて相手グループと意見交換をさせる。その際、チェック表「目的に合っているか」「どんな影響があるか(問題点)」「実現可能か」を持たせ、計画を吟味する視点とする。

最後に、他グループの意見も参考に、自己評価をし、見直したところや今後の方向性を発表する。

8. 本時の展開

配時	活 動	支 援	期待する対話の姿
15分	<p>1. 本時のめあてと流れについて確認する。 テーマ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">校庭の自然をいかした、好きな場所 いい場所づくり。</div> <p>本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">よりよい計画とするための中間交流 会をしよう。</div>	<p>○本時の活動の流れを掲示して、活動への見通しを持たせる。</p>	
60分	<p>2. 場所ごとのグループで、情報確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①どんな場所にしたいかを確認する。 ②具体的な計画について、担当ごとに順に経過報告をする。 ③質問や意見を出し合う。(質問や意見を予想する。) ④まとめ <p>3. それぞれのグループの計画を紹介して意見交換をする。</p> <p>(1) キラキラグループの計画を発表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①計画を提案する。 ②提案に対する意見や感想をグループで検討する。 ③意見や感想交流をする。 <p>(2) めがね池グループの計画を発表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①計画を提案する。 ②提案に対する意見や感想をグループで検討する。 ③意見や感想交流をする。 <p>(3) 藤だなグループの計画を発表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①計画を提案する。 ②提案に対する意見や感想をグループで検討する。 ③意見や感想交流をする。 	<p>○司会者をつくり話し合いを進行させることで、みんなの意見を効率的に出し合えるようにする。</p> <p>○「目的に合っているか」「どんな影響があるか(問題点)」「実現可能か」の視点を板書し、この視点を意識させて検討させる。</p> <p>○グループで検討する時に、質問があるときは提案グループに聞いてもよいことを確認しておく。</p> <p>○ピンクカード(よいところ)、青カード(問題点)に書かせることで、それぞれの意見をまとめる話し合いへと方向付ける。</p> <p>○グループで書いたカードを、提案者グループのところに画用紙に貼り付けて意見交換させることで、意見交換を通して計画の評価や見直しの結果を明確にするとともに、ふり返りの場でも活用できるようにする。</p>	<p>○「校庭の自然を生かしているか」「実現可能か」についての意見や質問を伝えている。意見や質問に対して答えたり、気になることを問いかけたりしている。</p> <p>○他のグループの提案に対して、よい点や問題点を見つけ、伝えようとしている。</p> <p>○自分のグループに対する評価や質問、意見に対して答えている。</p> <p>○他者評価を参考に、自分のグループの計画をふり返る発言をしている。</p>
15分	<p>4. 今日のふり返りとまとめをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 今日をふり返ってを書く。 (2) 今日の成果をグループで話し合う。 (3) 今日の成果を報告する。 	<p>○他のグループからの意見や感想を書いたカードを貼った画用紙を見ながら成果をふり返らせる。</p> <p>○足りないところ(付加)、見直しが必要なところ(修正)、自信がついたところ(強化)について</p>	<p>○修正や付け加えできたことや自分たちの計画のよさについて再確認できたことを確認し合う発言をしている。</p>

教室配置図



交流で使う掲示図(予想)のようす

※よさ(ピンクカード) 問題点(青カード)

藤だなA

◎ 交流語の見直しの観点としては「他の学年の取組との連携」「つくるものは必要最小限にする」

よさ	取組	問題点
	<ul style="list-style-type: none"> 落ち葉・虫を防ぐ網 藤に枝を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> ●費用や材料 ●重さ ●日当たり等の問題
<ul style="list-style-type: none"> ○休憩場所 ○給食を食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 机のペンキぬり・イスづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●材料や道具や方法は? ●色をつけるより木の模様の方がよい。 ○使い方の看板作りも必要では。 ●新しい物が必要かな? つくりすぎはよくない。
	<ul style="list-style-type: none"> きれいな花を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハッピーフラワープロジェクトなどとの連携 ●どこに花を植えるのかな? ●花はだれがお世話をするのかな。
	<ul style="list-style-type: none"> 雑草ぬき 	<ul style="list-style-type: none"> ●バッタが減らないかな。 ●掃除当番があるので、しっかりそうじしてもらおうのが大切。

藤だなB

◎ 交流語の見直しの観点としては「害虫の役割調べ」「虫の退治ではなく注意を促す方法を考える」「虫を増やす→虫を捕まえてくるのではなく、今の環境を少し変えて虫が住みやすい環境づくりをする。」

よさ	取組	問題点
<ul style="list-style-type: none"> ○生活科や理科での利用 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい虫を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ●季節による虫の種類 ●虫をふやす方法は?

	害のある虫対策	<ul style="list-style-type: none"> ●スプレーなどはしぜんをこわす。 ●クモが外遊を食べることもあるかクモも必要。 ●ハチもいるのが自然。
--	---------	---

学級園

◎ 交流語の見直しの観点としては「他の学年の取組との連携」「虫を増やす→虫を捕まえてくるのではなく、今の環境を少し改良して虫が住みやすい環境づくりをする。」「木や花と虫とのかかわりを調べ、今ある草木の役割を考える。」

よさ	取組	問題点
○虫に合う野草をふやすのはいい。	花を増やす	●ハッピーフラワープロジェクトなどとの連携
○生活科や理科での利用	↓	●花の数や費用
	楽しい虫を増やす	●季節による虫の種類
	きれいにする	
	木に名札をつける	

キラキラA

◎ 交流語の見直しの観点としては「費用のかからないイスの作り方や材料を具体的に考える」「虫を増やす→虫を捕まえてくるのではなく、今の環境を少し改良して虫が住みやすい環境づくりをする。」

よさ	取組	問題点
○クラブチームのお世話の方々がつろげる。	イスづくり	●材料 ●作り方
○生活科や理科での利用	虫をふやす	●季節と種類 ●人による感じ方の違い
	きれいにする	

キラキラB

◎ 交流語の見直しの観点としては「巣箱の作り方や材料を具体的に考える」「鳥の数と他の生き物との関連を考える」

よさ	取組	問題点
○クラブチームのお世話の方々も楽しめる。	鳥の巣箱づくり	●巣の大きさと数 ●季節によって鳥の種類が違う。 ●材料はどうするの。 ●木の実がなくならないかな。 ●取り付け方は？ ●鳥が虫を食べて、虫がいなくならないかな。
○バードウォッチングができる		

めがね池

◎ 交流語の見直しの観点としては、「観察レンズの作り方と保管の仕方」「メダカを入れるのではなく、メダカの住める環境づくりをする。」「観察の仕方やルールが必要。」

よさ	取組	問題点
○生活科や理科での利用	メダカをふやす	●適当な水草の量

<p>○生活科や理科での利用</p> <p>○メガネ池を見るのが楽しくなる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観察レンズづくり</div>	<p>●メダカを入れるの？</p> <p>●材料(レンズ, 筒は何で?)</p> <p>●作り方(じょうぶに)GTは?</p> <p>●明るさ</p> <p>●水草がつかないかな。</p> <p>●みんなが集まって, 観察しすぎると環境がこわれないかな。</p>
--	--	---

活動場所別グループの計画等について

場 所	メンバー	こんな場所にしたい	取 組		予想される質問や意見
			計 画	表 現 物	
藤 だ な A	すずしく 落ち着け る	すずしい&落ちつけ る藤だな ・きれいな場所 ・いろいろなこと ができる	①葉っぱが落ちないあみ ②イスをきれいに(ペンキ) ③イスの数を増やす(クラスの数) ④雑草をぬく。 ⑤きれいな花を増やす	・季節ごとの花の種類 育てたい花 ・イスの図)	・あみ→費用, 日当たり, 草がたまった時の重み・ペンキの塗り方→GT(用務員先生) ・イスの作り方→費用と道具(リサイクル) ・いろいろとは?→花を見る, 音を楽しむ?給食?
藤 だ な B	虫のいる ところ	藤だなを落ち着ける場所にしよう ・多くの人に利用 ・虫の観察	①虫が住める環境(きれいな蝶, 音を出す虫を増やす) ②きれいな植物を増やす ③藤の手入れ ④使用上の注意看板づくり	・害がある虫表 ・いてほしい虫ほしくない虫の表 ・楽しい虫 ・学校にある木や鳥の特徴	・季節による違い ・虫に対する感覚の違い→アンケート ・虫の観察=落ち着ける? ・3年生の取組との関連(ハッピーフラワーP) ・藤の手入れ→植木屋さん ・看板の材料
学 級 園	虫や木のあるところ	虫や植物がいっぱいいる ・花や虫を見て楽しむ場所 ・きれいな場所	①花がさく環境づくり ②虫がすめる環境作り ③きれいな	・虫が食べるもの	・季節による花や虫の種類分け
キラ キラ キラA	すわれるところ	落ち着くきれいな場所づくり ・ベンチのあるすずしい場所	①ベンチづくり(日かげ) ②虫の住める環境	・虫の種類を表(鳴く虫, はねる虫, とぶ虫) ・花と場所	・ベンチの作り方と材料→GT(用務員先生)
キラ キラ キラB		キラキラルームのまわりは自然がいっぱい楽しい ・鳥の観察ができる ・いろいろな虫や花が見れる ・すずしい	①鳥の巣箱づくり	・鳴き声のきれいな別鳥の種類を表 ・季節ごとの鳥 ・巣箱設計図・学校にある木と鳥の特徴	・巣箱の作り方→GT ・巣箱の数や大きさ→鳥の種類と大きさ
メガ ネ 池	生き物を観察できる ところ	生き物が住みやすいメガネ池 ・メダカが住める(増える)場所 ・メダカ観察ができる。	①メダカが住める池に ②観察道具づくり	・観察道具の設計図 ・生き物 ・メガネ池の水草 ・メガネ池の中の図	・メダカの種類 ・観察道具の作り方と材料

中間交流会1の仕方(グループ) 【15分】 14:10~14:25

1. どんな場所にしたいかを確認する。)【5分】
2. 具体的な計画について、担当ごとに順に経過報告をする。
3. 質問や意見を出し合う。(質問や意見を予想する。)**【8分】**
 - ・ 目的(どんな場所にしたい)に合った内容の計画になっているか。
 - ・ その場所のよさをいかしているか。
 - ・ 計画が実現したときに、問題となることはないか。(賛成意見や反対意見)
 - ・ 実現可能な計画になっているか。(気になることとアドバイス)
4. まとめ
 - ・ 主張点を確認する。**【2分】**

中間体交流会2の仕方(全体) 【75分】

Aグループ 14:25~14:45 Bグループ14:45~15:05 Cグループ15:05~15:25
まとめ 15:25~15:40

1. グループごとに報告する。
 - (1) どんな場所にしたいか(目的)を話す。)【1グループ5分~10分】
 - (2) 具体的な計画について、担当ごとに説明をする。
2. 意見交かんをする。
 - (1) 質問や意見、感想についてグループで話し合い、カードに書く。**【5分】**
(ピンク:よいところ/青:質問や意見) **【20分】**
【話し合う時の観点】
 - ・ 目的(どんな場所にしたい)に合った内容の計画になっているか。
 - ・ その場所のよさをいかしているか。
 - ・ 計画が実現したときに、問題となることはないか。(賛成意見や反対意見)
 - ・ 実現可能な計画になっているか。(気になることとアドバイス)**×3 =60分**
 - (2) カードをもって、提案したグループに意見や感想を伝える。**【10分】**
質問したり、アドバイスしたり、感想を伝えたりする ↔ 質問に答えたり、意見をいったりする
3. まとめ
 - (1) 今日をふり返ってを書く。 **【5分】**
 - (2) 今日の成果をグループで交流し合う。**【5分】**
 - ・ 足りないところ
 - ・ 見直しが必要なところ
 - ・ よさが再確認できて、自信がついたところ
 - (3) 今日の成果を報告する。**【5分】**

グループ交流 【10～15分】 ～14:25

1. どんな場所にしたいかを確認する。
2. 具体的な計画について、担当ごとに順に経過報告^{けいか}をする。
3. 質問や意見を出し合う。(いいところや課題を明らかにする)
 - 目的に合った内容の計画になっているか。
 - その場所のよさをいかしているか。
 - 計画が実現したときに、問題となることはないか。
 - 実現可能な計画になっているか。
4. まとめ ○ 特に伝えたい内容を確認する。

中間体交流会 【75分】 ～15:25

1. グループごとに報告する。【5分～10分】
 - どんな場所にしたいか(目的)
 - 具体的な計画(経過報告～今, 考えているはんいで)
2. 意見交かんをする。【10分～15分】
 - (1) 質問, 意見, 感想についてグループで話し合い, カードに書く。(ピンク:よいところ/青:質問や意見)
 - (2) 質問や意見を伝える。(青カードを使う) 答える。↔
 - (3) ピンクカードをもって, 提案したグループに感想を伝える。

A:キラキラグループ(14:25～14:45)
B:メガネ池グループ (14:45～15:05)
C:藤だなグループ (15:05～15:25)

ふりかえり交流 【15分】 ～15:40

まとめ

- (1) 今日をふり返ってを書く。【5分】
- (2) 今日の成果をグループで交流し合う。【5分】

- 足りないところ
- 見直しが必要なところ
- よさが再確認できて, 自信がついたところ

- (3) 今日の成果を報告する。【5分】